

平成25年9月17日  
農業技術課

## 1 共通

- (1) 台風が通過した後であっても、これまでの大雨により河川等の増水や土砂崩れの恐れがあるため、最新の河川・土砂災害警戒情報に十分に注意して、危険を伴う見回り・作業等は極力避ける。
- (2) 冠・浸水したほ場では、速やかな排水に努める。
- (3) 倒伏や強風で傷んだ農作物の防除に際しては、収穫前日数等の農薬使用基準を遵守する。
- (4) 栽培中の園芸用施設では、速やかに施設の破損等の点検・補修を行う。  
また、施設内に浸水した場合は、湿度上昇により病害が発生しやすいので、換気対策を十分に行う。

## 2 水 稲

- (1) 滞水したほ場では排水対策を徹底し、稲刈り作業が遅れないよう努める。
- (1) 冠水被害を受けた水田は、少なくとも葉先や穂先だけでも水面に出すよう努める。
- (2) 倒伏した稲は速やかに引き起こし、茎葉の腐敗や穂発芽を防ぐ。
- (3) ハザ干しで倒れたものは早急に立て直し、乾燥を促す。
- (4) 倒伏等により高水分の籾をコンバインで収穫した場合は、直ちに乾燥作業を行う。その際は、胴割を防ぐため通風乾燥等を組み合わせて急激な乾燥を避ける。

## 3 大 豆

- (1) 倒伏した植物体は、できるだけ引き起こす。
- (2) 莢まで冠水した場合は、粒の腐敗や泥による汚粒の発生が予想されるため、収穫前に子実の品質を確認する。
- (3) 倒伏や強風で莢に損傷があるものは病害の発生が懸念されるため、殺菌剤により防除する。

## 4 そ ば

- (1) 倒伏した植物体は、できるだけ引き起こす。

## 5 果 樹

- (1) スレ等の傷果の評価基準については、J Aや集出荷業者と協議して対応する。
- (2) りんごで果実腐敗対策等で防除が必要な場合は、トップジンM水和剤 1,500 倍（収穫前日まで、6 回以内）等を散布する。すす斑病や褐斑病等が見られる場合には、ベフラン液剤 1500 倍（収穫前日まで、6 回以内（開花期以降 3 回以内））などを用いてもよいが、炭疽病発生園ではストロビルリン系統の剤を散布する。
- (3) 冠水した果実の対策
  - ア 冠水した果実は、衛生面や品質面から問題を生じやすい。J Aや集出荷業者と十分協議して、廃棄する場合は通常の収穫期を迎える頃に除去する。
  - イ 樹上部で冠水を免れた果実が多くある場合は収穫出荷が可能なので、防除機が入れるようになり次第、ストロビルリン系殺菌剤等を散布する。

## 6 野菜・花き

- (1) 風雨により葉傷み等が発生したものは、農薬使用基準を遵守し殺菌剤を散布する。
- (2) トマト、きゅうり、いちご等の果菜類のほ場が浸水した場合、疫病等の発生が懸念されるので、農薬使用基準を遵守して殺菌剤を散布する。
- (3) きゅうり、アスパラガス、ながいも、キク、グラジオラス、リンドウ等で、支柱と共に倒伏したものは、引き起こし再誘引する。パイプ支柱の場合、折れた部位で戻すと断裂するので、その部位をはずして曲げ戻して復元する。
- (4) 花きで冠・浸水したものは早急に洗浄し、泥やゴミなどの付着物を洗い落とす。
- (5) ながいものほ場が長時間滞水または冠水した場合、試し掘りを行って根部表面等の障害程度を確かめながら収穫時期を検討する。

## 7 畜産

- (1) 畜舎への浸水があった場合は、排水に努め、水が引いた後、速やかに畜舎、設備器具の水洗、乾燥、消毒を実施する。特に搾乳機器は点検を行い、消毒等の衛生対策を徹底する。
- (2) 冠水、浸水した飼料作物は排水を行い、折損・倒伏した飼料用トウモロコシで収穫適期となっているものは早めに刈り取る。

※本資料に農薬名を記載した農薬の登録基準は次のとおり。使用にあたっては、最新の登録状況を確認する。

トップジンM水和剤（2013年9月11日現在）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
りんご	黒星病、うどんこ病、黒点病、褐斑病	1500～2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	6回以内	散布	10回以内(塗布は3回以内、灌注は1回以内、散布は6回以内)
	腐らん病、モモリア病(実腐れ)	1000～1500倍					
	輪紋病、すす点病、すす斑病	1500倍					

ベフラン液剤（2013年9月11日現在）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数
りんご	モモリア病	1000倍	200～700L/10a	展葉期	6回以内(但し、開花期以降散布は3回以内)	散布	8回以内(液剤及び水和剤は合計6回以内(開花期以降は3回以内)、塗布剤は2回以内)
	腐らん病	1000倍		休眠期			
		500～1000倍		収穫前日まで			
	斑点落葉病、褐斑病、輪紋病、すす点病、すす斑病	1500～2000倍					
	黒星病	1500倍					